

提案型協働事業計画書 (活動支援交付金)

団 体 名	設立年月日	平成 21 年 4 月 25 日	団体の構成人数	122 人
	武豊町防災ボランティアの会			
1 事業の名称及び実施期間	名称：保育園・小中学校の防災減災学習と防災実践訓練 期間：平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 2 月 28 日			
2 該当する町の施策方針	「22 のめざすべきまちの姿」 災害への備えや日常生活の安全が確保されているまち 「61 の施策方針」 災害に強いまちにする			
3 解決へ向けて取り組む地域課題	災害に強いまちづくりをするには、防災意識の高い人づくりが大切である。それには子供の頃より、災害への意識を高め、自助・共助を認識して、自然災害に対する意識の向上となる防災減災学習や防災実践訓練を継続する必要があります。			
4 協働対象部署	学校教育課(小・中学校)・子育て支援課(保育園) ・防災交通課 ・企画政策課と社会福祉協議会			
5 事業の内容等 (1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業PRの方法 (5) その他	(1)①学校教育課と協働：防災・減災学習と防災実践訓練 (武小・衣小・富貴小・津波地区通学路マップ作り等) ②子育て支援課と協働：防災紙芝居と避難訓練の支援 ③防災交通課と協働：防災ガイドブック利用して防災教室 (小学校3・4・5年生の防災学習としては5~6月) ④小中学校保育園、防災・減災新規福祉提供事業継続 (2)小中学校、保育園、学校区訓練会場等 (3)小中学校生、保育園児、教職員 (小学校3・4・5年生、中学3年生) (4)行政各部課及び小中校と保育園に案内 (5)新聞及びケーブルテレビなどで報道予定			
6 事業実施により期待される効果	・防災学習は、園児・児童・生徒などに継続的に学習や訓練をすることで事業実施の効果が高まり、防災意識の高い災害に強いまちになると考えている。中学校の防災実践訓練は、共助意識が醸成され地域貢献も期待される。			
7 事業の特徴	・子供達への防災学習は、防災ボランティアの会にとっても地域貢献を感じられ、活動が生き甲斐になっている。経験や知識を活かせる活動こそ、みんなの思いが叶うまちとして、協働取組みに相応しいと考えている。			
8 今後の事業ビジョン	・子供たちにわかり易い防災啓発カリキュラムをつくり、学校での防災学習活動を継続し、災害への備えや日常生活の安全が確保されているまちにしたい。			
9 その他	・県立ではありますが、武高の1年生全員の防災実践教室も6~10月に継続実施して共助意識の高まりを期待したい。			

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。